



かんろ
寒露（8日）… 空が澄み、柿の実が色付き始めます …

先日、第二校庭で遊んでいると、広い空にひつじ雲がきれいでした。彼岸花から金木犀へと花の匂が移り変わりました。香っていた金木犀も雨が降ると花びらが散り、オレンジの絨毯のようになります。そろそろ、裏庭の柿も色付き始め、ブドウも食べ頃になります。

<鴻雁来 こうがんきたる 10月8日～12日>

寒露の初候は「鴻雁来」です。北国から、渡り鳥がやってくる季節を迎えます。朝晩は空気がひんやりとすることが増え、少しずつ秋が深まっていることを感じます。

<広い空にきれいなひつじ雲>

10月初め、年中児と幼稚園のすぐ隣の青南小学校の第二校庭に出掛けて踊ったり走ったりしたときの事です。空を見上げると、絵に描いたようなきれいな雲が空一面に広がっていました。フワフワの綿あめが連なっているようにも、羊の群れのようにも見えました。活動の合間にゴロンと寝転んで、「おいしそうだね」「ソフトクリームみたい」などと話しながら見上げました。同じ雲は二度と見られないものなので、貴重な経験ができました。

<青南小学校の第二校庭>

今年は、感染予防の観点から、青南小学校との交流活動は今までのようにはできていませんが、この第二校庭は頻繁に使わせてもらっています。11月の親子フェスタもここでを行います。かけっこやダンスなどを広々とした空間で楽しむことができることを有り難く思います。

<たくさんチョウが棲む幼稚園>

園庭にミカンの木があるので、ほとんどの学級でそこで見つけた幼虫を育て、アゲハチョウに羽化させて、空に放ってきました。でも、幼稚園にはその他にもシジミチョウ、ジャノメチョウ、ミスジチョウなどたくさんチョウを見ることができます。下に紹介したのは、そのうちのほんの一部で、とてもたくさん生き物が棲んでいることを実感します。



皆さんは何に見えますか？



広々とした第二校庭は運動遊びにピッタリ



横になって見上げるのも気持ちいいね



モンシロチョウは聞いたことがあるでしょうが、これは黄色い「モンキチョウ」です。動きが早く、写真に収められたのは奇跡的でした。



以前紹介した、スマレやピオラを食草にしている黒くてトゲトゲの幼虫がこのきれいな「ツマグロヒョウモン」に変身します。不思議ですね。



黒地に青が鮮やかな「アオスジアゲハ」も動きが早いのですが、水を飲むときは大人しく、ようやくきれいな姿を写すことができました。